

2018年3月期 第3四半期決算

説明資料

株式会社 **トクヤマ**

2018年1月31日



2018年3月期 第3四半期決算のポイント

- 3Q(10 - 12月)は堅調な仕上がりで、多結晶シリコン、半導体向け高純度薬品などの電子材料や、クロルアルカリを中心とする化成品も引き続き好調。ほぼ全ての製品でフル生産が続く状況。
- 期末の業績予想を精査した結果、2017年4月28日に公表した数値を上方修正。
- 2018年1月29日をもって全ての財務制限条項付き借入契約を解消し、中期経営計画に目標として掲げる財務体質改善を着実に実行。

CONTENTS

1 2018年3月期 第3四半期決算

2 2018年3月期 業績予想

3 トピックス

4 補足資料

※本資料に掲載している全ての営業利益については、休止部門費を「売上原価」に含めており、前年度以前の数値については「営業外費用」から「売上原価」に組み替えて表示しています。

1 2018年3月期 第3四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高
／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高
／営業利益増減分析

1. 決算概要

連 結 (前年同期比)

(億円未満切捨て)
(億円)

	2017年 3月期 第3四半期累計	2018年 3月期 第3四半期累計	増 減	
			金額	%
売上高	2,181	2,260	+79	+4
営業利益	282	301	+18	+7
経常利益	251	264	+13	+5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	248	73	△175	△70

1株当たり四半期純利益(円)※	350.05	82.18
為替(円/\$)	107	112
国産ナフサ価格 (円/kg)	32,200	39,800

2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(売上高)

増収要因: セメント等の主力製品の販売数量堅調
苛性ソーダや石化製品の販売価格是正

(営業利益)

増益要因: 各事業の販売数量堅調
価格是正により収益改善

減益要因: 原燃料価格上昇に伴う製造コスト増加

(経常利益)

増益要因: 営業利益の増加

(親会社株主に帰属する当期純利益)

減益要因: トクヤママレーシアの譲渡完了による子会社譲渡損の発生と非支配株主持分損益の計上

※2017年3月期第3四半期及び2018年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益については、親会社株主に帰属する四半期純利益から、普通株式に帰属しない金額(A種種類株式にかかる配当金額、A種種類株式償還プレミアム。但し、2017年3月期第3四半期は前者のみ)を控除した金額を、普通株式の期中平均株式数で除して算定しています。

1. 決算概要

連 結（前 期 末 比）

（億円）

	2017年 3月末	2017年 12月末	増 減
総資産	4,244	3,590	△653
自己資本	1,270	1,141	△129
自己資本比率	29.9%	31.8%	+1.8ポイント
有利子負債	2,139	1,543	△596
D/Eレシオ	1.68	1.35	△0.33
ネットD/Eレシオ*	0.73	0.72	△0.01
1株当たり純資産(円)	1,527.42	1,640.41	

2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しています。

*ネットD/Eレシオ：(有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託)／自己資本

定性情報(前期末比)

(総資産)

減少項目：現金及び預金の減少

(自己資本)

減少項目：種類株式の消却による株主資本の減少

(有利子負債)

減少項目：社債の信託型デット・アサンプション契約締結

長期借入金の期限前弁済

2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

(億円)

	2017年3月期 第3四半期累計		2018年3月期 第3四半期累計		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	600	96	678	114	+78	+13	+17	+18
特殊品	473	51	417	73	△56	△12	+21	+42
セメント	613	60	657	36	+43	+7	△23	△40
ライフアメニティー	382	39	377	23	△5	△1	△15	△40
その他	394	45	410	50	+15	+4	+4	+9
計	2,465	294	2,542	297	+77	+3	+3	+1
セグメント間消去・ 全社費用	△284	△11	△281	3	+2	-	+15	-
連結決算	2,181	282	2,260	301	+79	+4	+18	+7

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

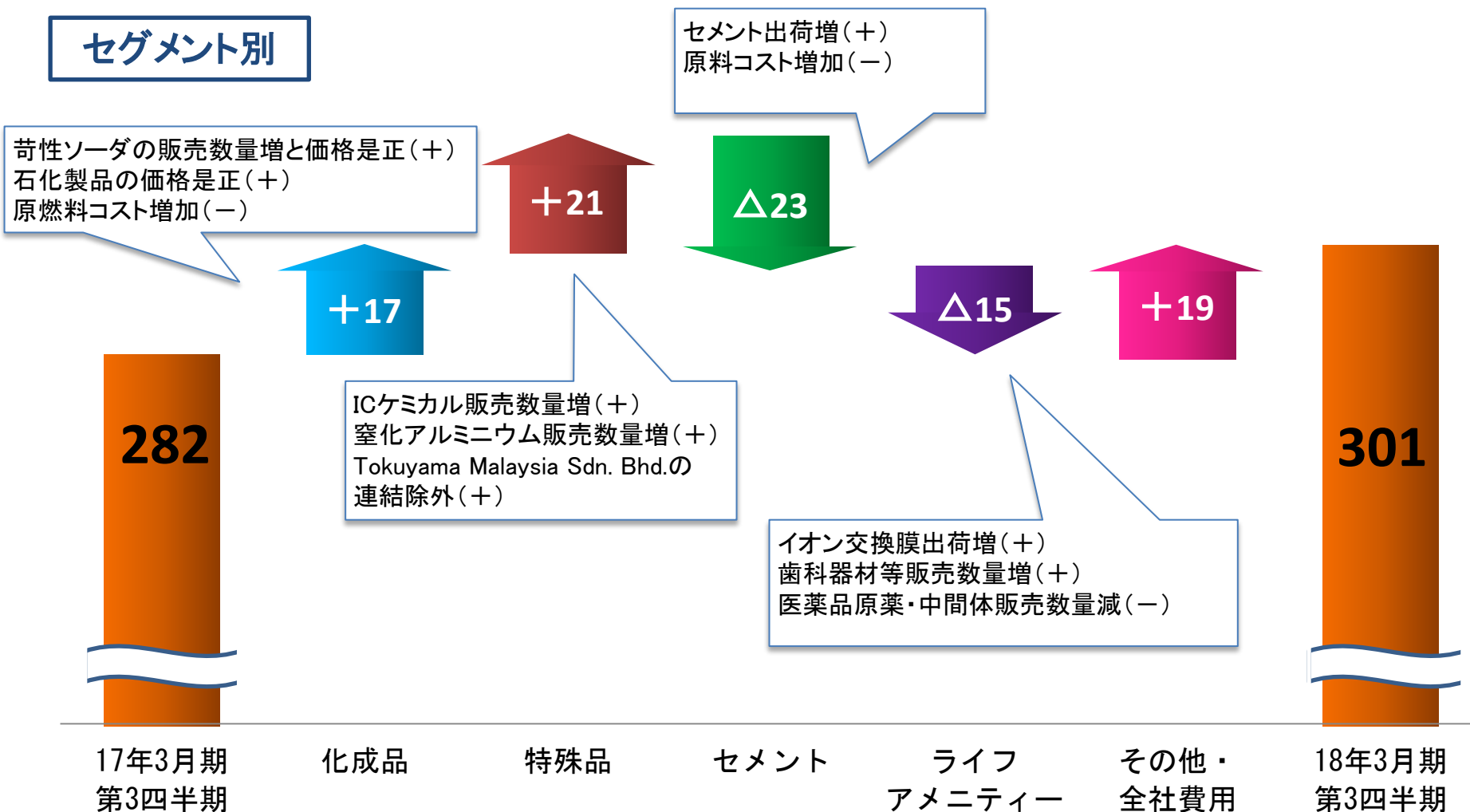
(参考) 2017年3月期第3四半期は2016年4月～12月、2018年3月期第3四半期は2017年4月～5月の損益を表示。

トクヤママレーシア	103	△13	16	△6	△87	-	+7	-
-----------	-----	-----	----	----	-----	---	----	---

3. 営業利益増減分析

(前年同期比) (億円)

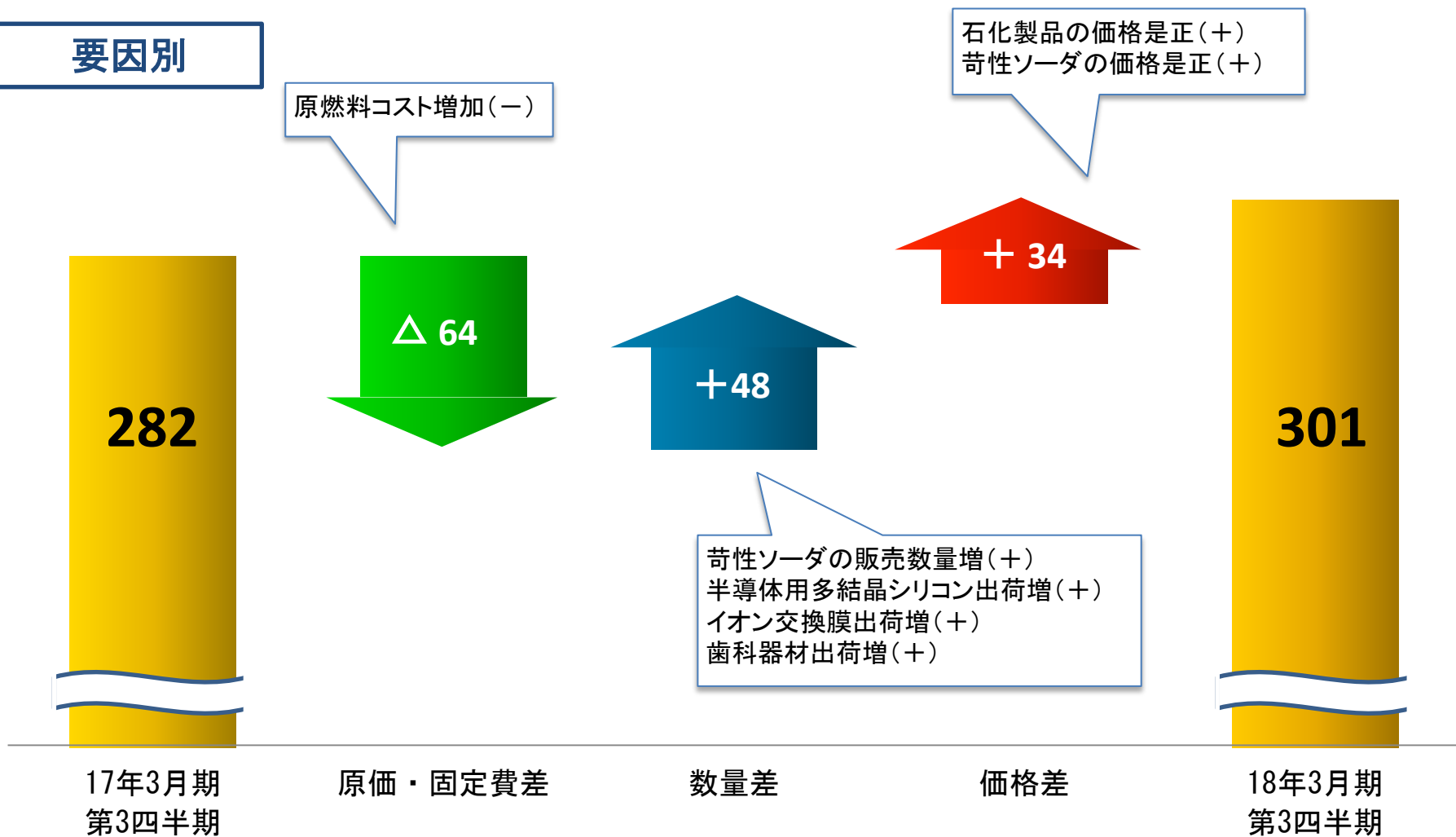
セグメント別



3. 営業利益増減分析

(前年同期比) (億円)

要因別



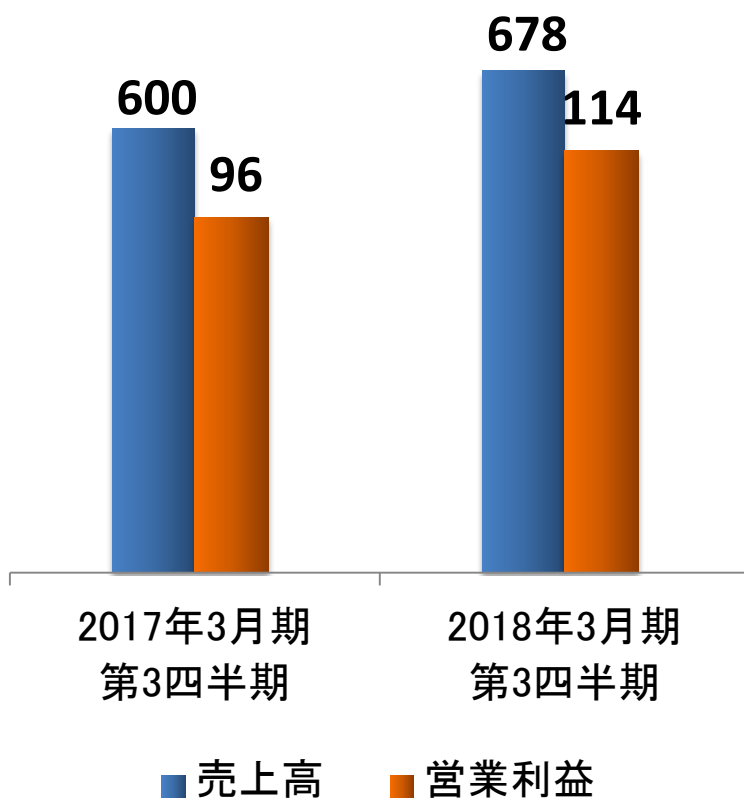
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

化成品

増収増益

定性情報

(億円)



(苛性ソーダ)

- ・国内、輸出の出荷増と、販売価格是正により増収

(塩ビモノマー)

- ・アジア向け出荷の増加により増収

(塩ビ樹脂)

- ・販売価格是正により増収

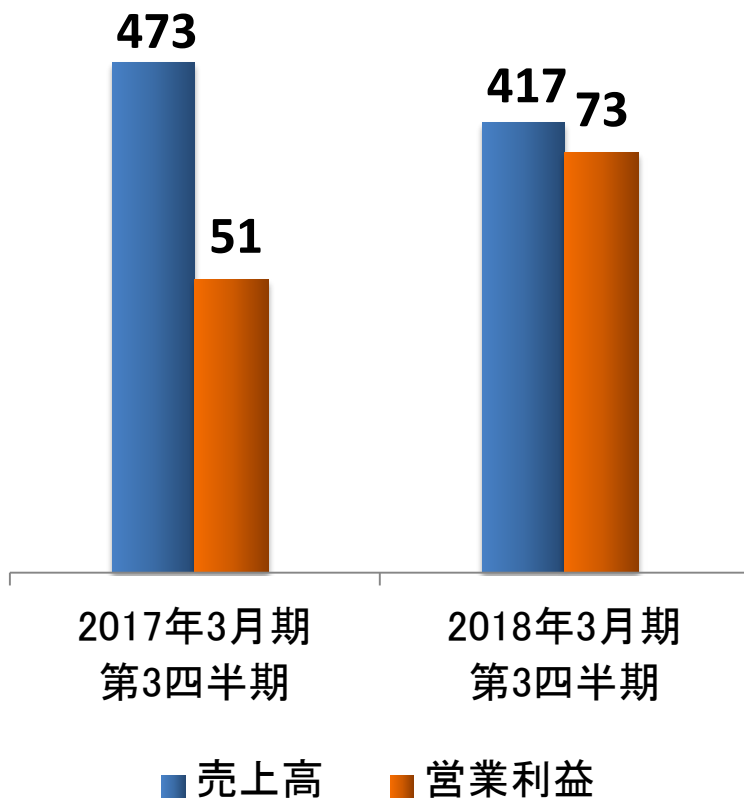
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

特殊品

減収増益

定性情報

(億円)



(半導体用多結晶シリコン)

・販売が堅調に推移し、増収

(乾式シリカ)

・CMP向けを中心として販売が堅調に推移し、増収

(電子工業用高純度薬品)

・半導体用途で販売が増加し、増収

(窒化アルミニウム)

・半導体製造装置向けを中心に販売が増加し、増収

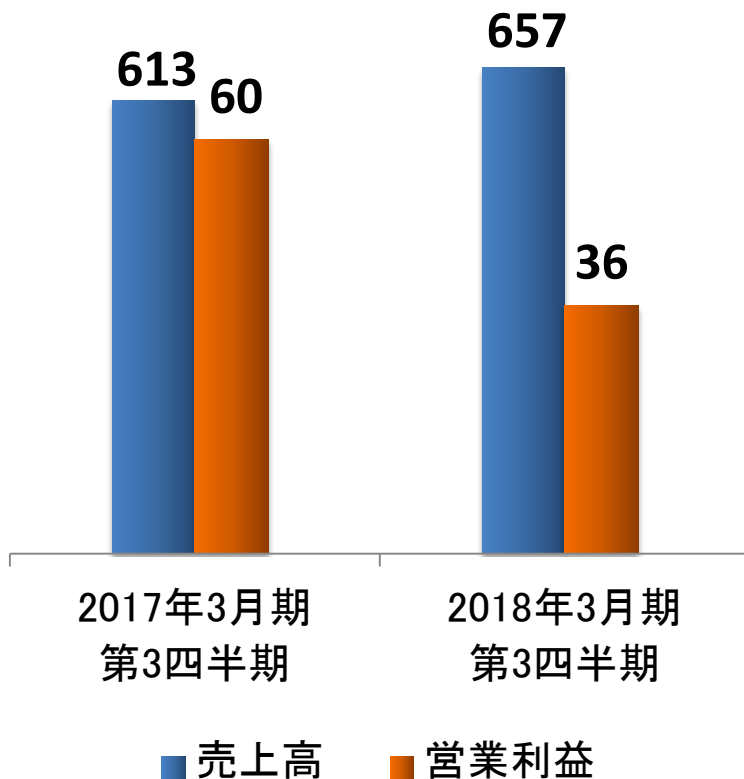
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

セメント

増収減益

定性情報

(億円)



(セメント)

- ・東京五輪の関連工事が本格化した東京地区を中心に国内出荷が増加、需要旺盛なアジア地区への輸出増により増収
- ・連結子会社は、生コンクリート等の出荷が好調だったため増収
- ・石炭等の原料価格上昇による製造コスト増で減益

(資源リサイクル)

- ・廃棄物の受入数量は減少したものの、廃棄物処理単価が上昇した結果、前年同期並みの収益

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

ライフアメニティー

減収減益

定性情報

(億円)

(歯科器材)

・新製品、海外向けの販売に積極的に努め、増収

(イオン交換膜)

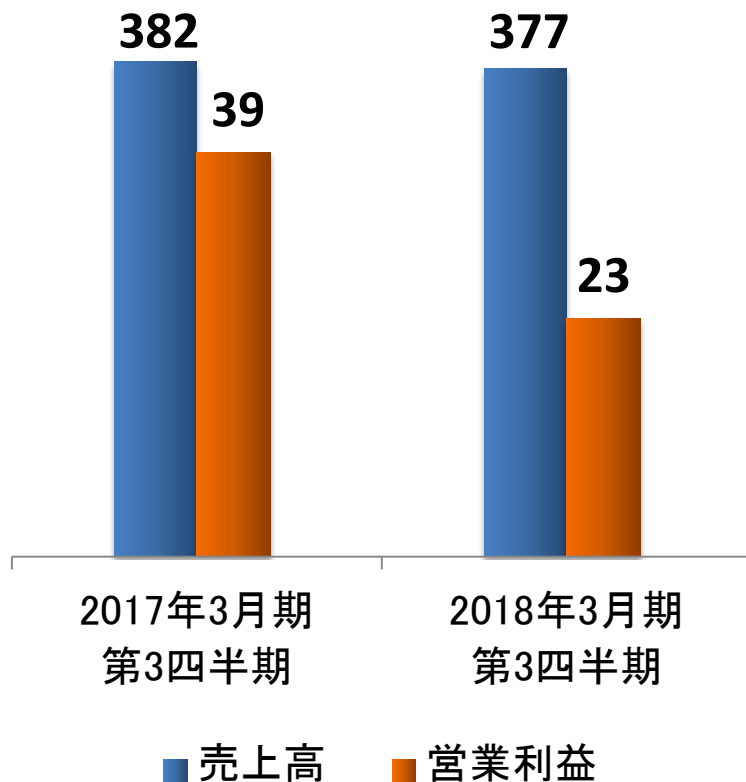
・大型案件の受注により増収

(医薬品原薬・中間体)

・ジェネリック医薬品向けの販売数量が減少し、減収

(微多孔質フィルム)

・サニタリー用品向けで、海外の連結子会社での販売が振るわず、減収



2 2018年3月期 業績予想

1. 業績予想修正
2. セグメント別業績予想修正



1. 業績予想修正 連結（予想の前期比）

(億円)

	2018年 3月期 予想 (2017/4/28公表)	2018年 3月期 予想 (2018/1/31修正)
売上高	3,000	3,080
営業利益	360	390
経常利益	320	340
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	150
1株当たり当期純利益(円)	163.50	192.26
為替(円/\$)	105	111
国産ナフサ価格 (円/kg)	40,000	41,700

増 減	
金額	%
+80	+3
+30	+8
+20	+6
+20	+15

2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

クロルアルカリを中心とする化成品や半導体向け電子材料製品がこれまで期首予想を上回る水準で推移しており、通期の業績予想を精査した結果、2017年4月28日に公表した数値を修正する。

2. セグメント別業績予想修正 (予想の前期比)

(億円)

	2018年3月期予想 (2017/4/28公表)		2018年3月期予想 (2018/1/31修正)		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	890	130	930	150	+40	+4	+20	+15
特殊品	560	95	600	110	+40	+7	+15	+16
セメント	860	55	860	45	-	-	△10	△18
ライフアメニティー	540	40	520	30	△20	△4	△10	△25
その他	520	55	540	60	+20	+4	+5	+9
計	3,370	375	3,450	395	+80	+2	+20	+5
セグメント間 消去・全社費用	△370	△15	△370	△5	-	-	+10	-
連結決算	3,000	360	3,080	390	+80	+3	+30	+8

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

③ トピックス

1. 有利子負債削減



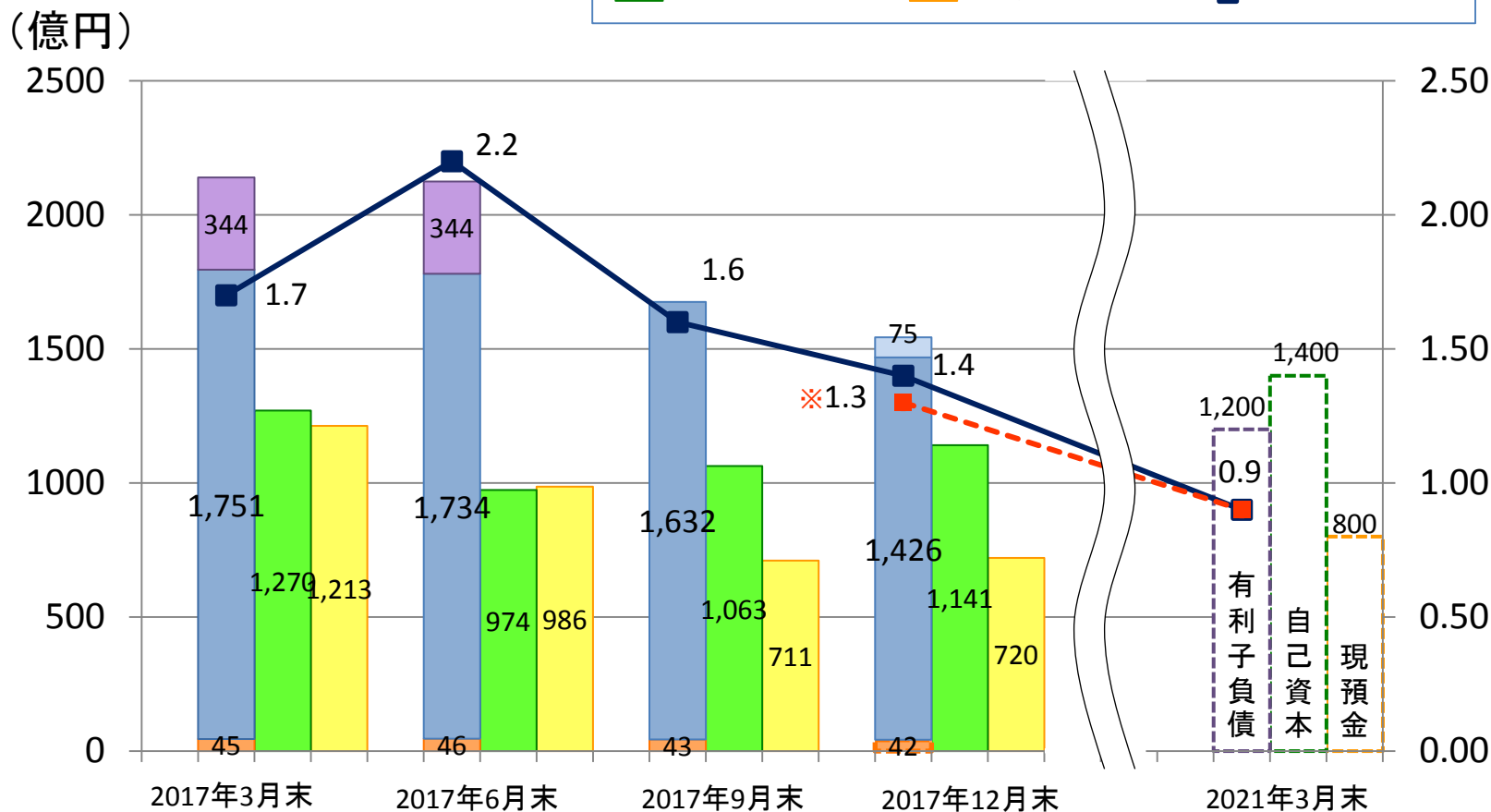
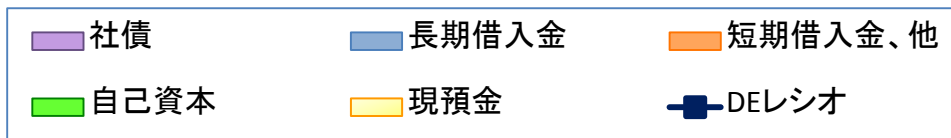
1. 有利子負債削減

- 2018年1月29日付の期限前弁済をもって、財務制限条項が付された借入契約が全て終了。
- 今年度(2018年3月期)に金融機関の合意を得て期限前弁済により完済した財務制限条項が付された借入契約は以下のとおり。

借入契約	契約日	完済日
(1) (株)三菱東京UFJ銀行とのタームアウト型 中期コミットメントライン契約	2011年9月30日	2017年9月29日
(2) (株)日本政策投資銀行を幹事とする7社の 協調融資によるシンジケートローン契約	2011年12月22日	2017年12月29日
(3) (株)三菱東京UFJ銀行を幹事とする6社の 協調融資によるシンジケートローン契約	2012年7月24日	2018年1月29日

- これらの契約終了による今年度の有利子負債削減額は、25,950百万円となる。

1. 有利子負債削減



※ 2018年1月29日に期限前弁済した財務制限条項が付された借入契約75億円を差し引くと仮定し、D/Eレシオを算出しています。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA



4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. 業績推移
3. 主要原燃料価格推移

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	2017年 3月期 第3四半期	2018年 3月期 第3四半期	増減	
			金額	%
売上高	2,181	2,260	+79	+4
売上原価	1,461	1,521	+59	+4
販管費	436	438	+2	+0
営業利益	282	301	+18	+7
営業外損益	△31	△36	△5	-
経常利益	251	264	+13	+5
特別損益	45	△19	△64	-
税前四半期純利益	297	245	△51	△17
法人税等	40	119	+79	+199
非支配株主利益	8	52	+43	+508
親会社株主に帰属する 四半期純利益	248	73	△175	△70

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

貸借対照表

(億円)

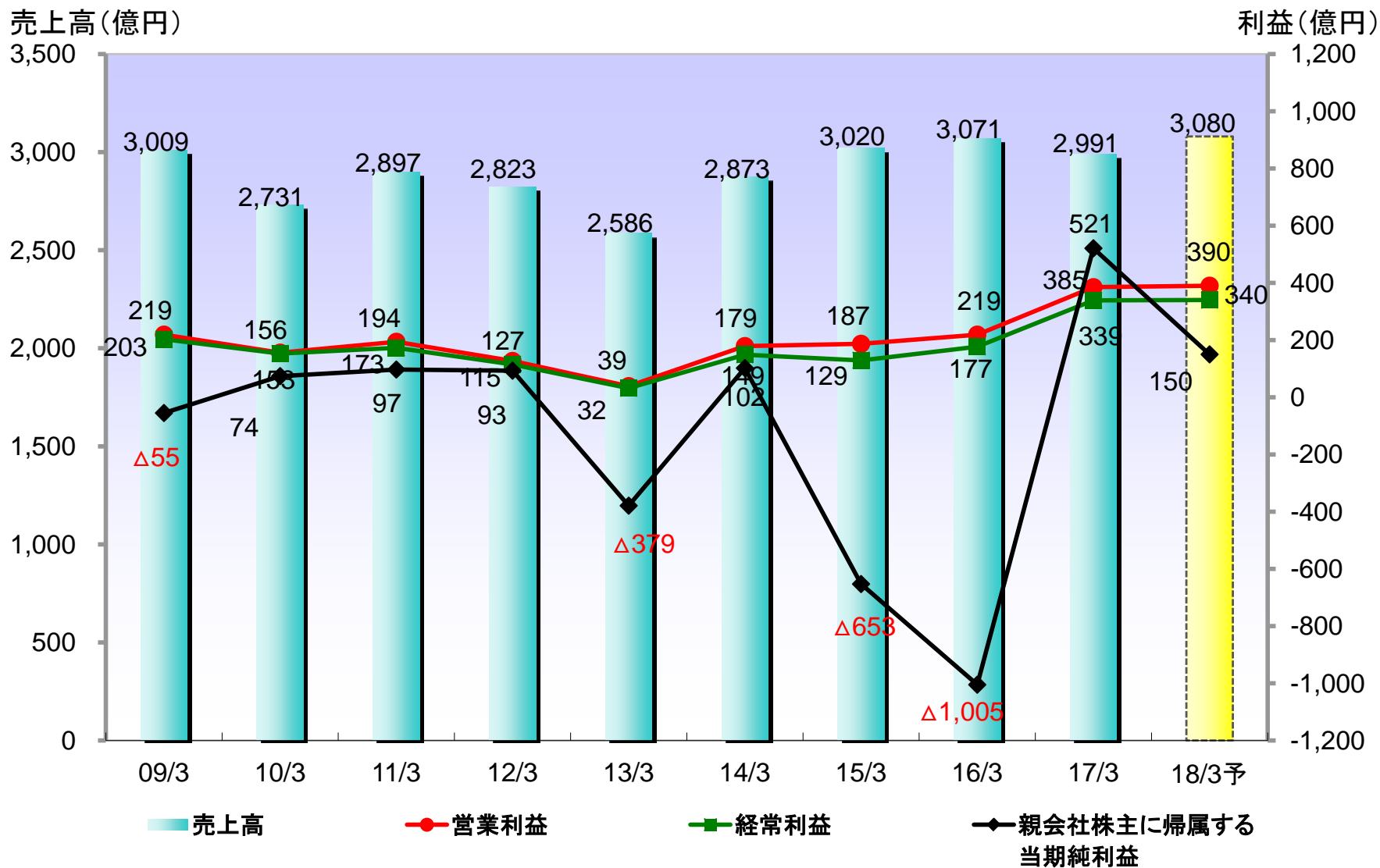
	2017年 3月末	2017年 12月末	増減	
			金額	%
資産合計	4,244	3,590	△653	△15
流動資産	2,466	1,931	△535	△22
有形固定資産	1,192	1,110	△81	△7
無形固定資産	47	31	△16	△35
投資その他の資産	537	517	△20	△4

	2017年 3月末	2017年 12月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,884	2,342	△541	△19
流動負債	791	866	+74	+9
固定負債	2,093	1,476	△616	△29
純資産合計	1,359	1,248	△111	△8

4 補足資料

2. 業績推移

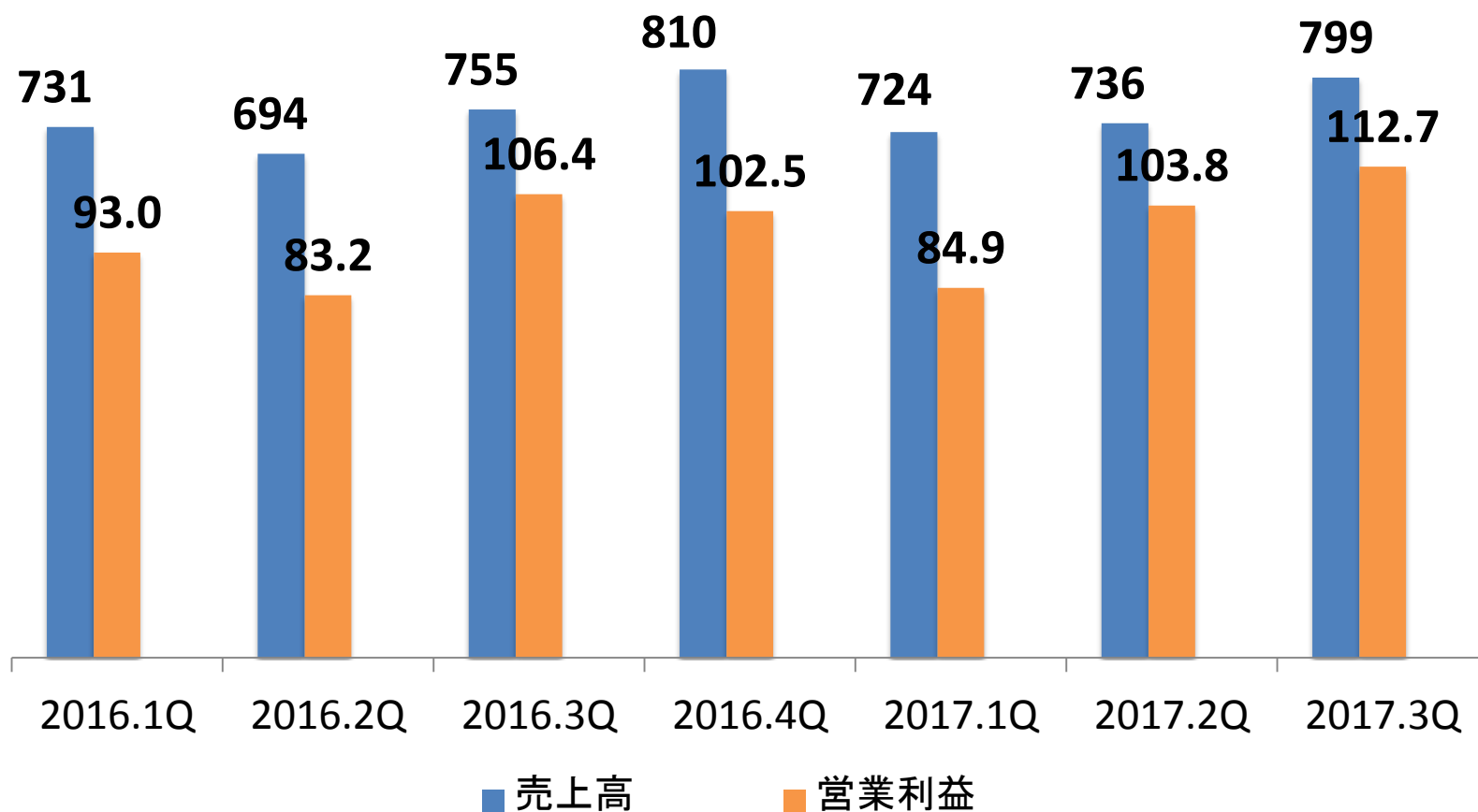
連 結 (通 期)



2. 業績推移 (四 半 期)

連結

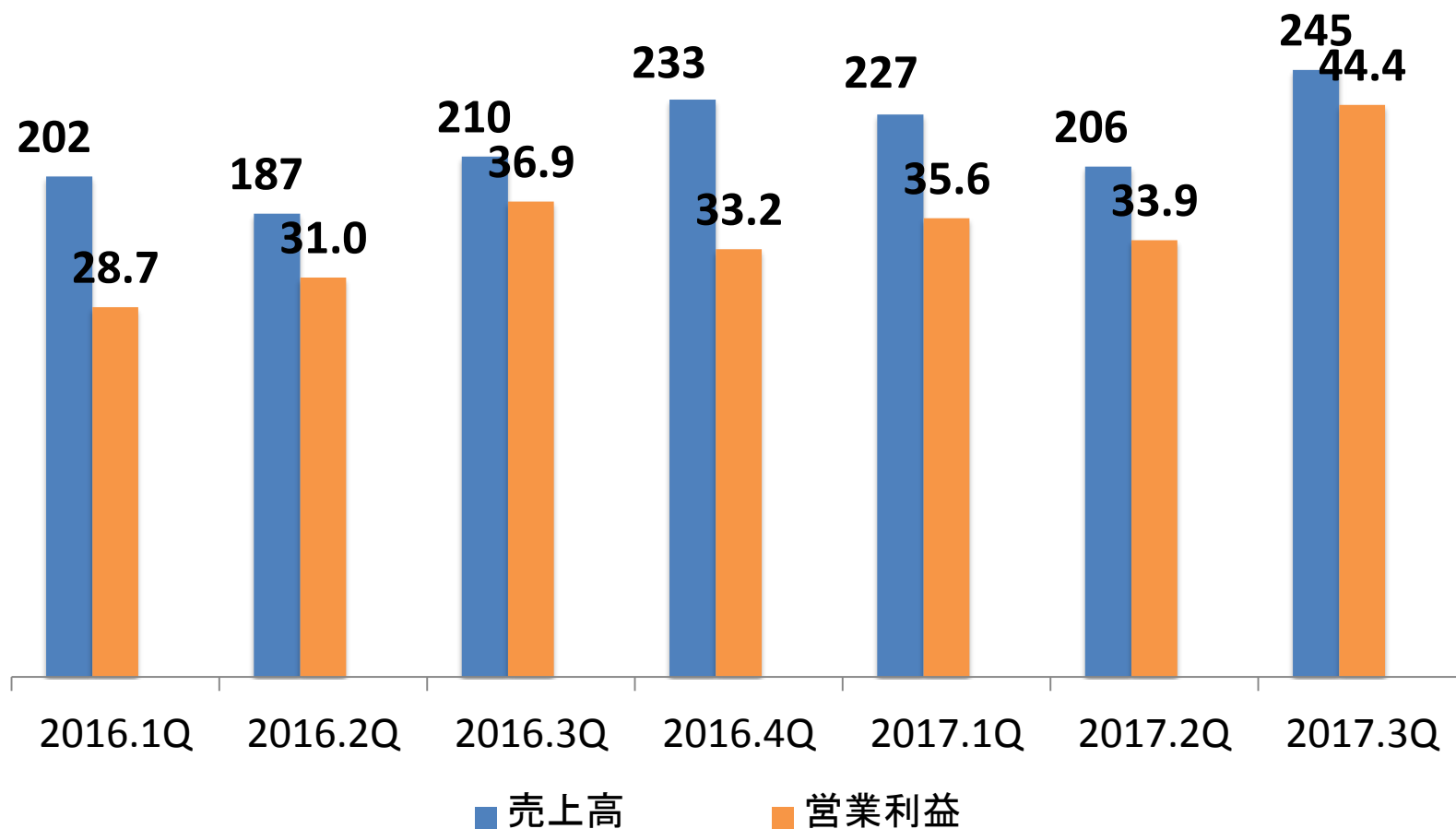
(億円)



2. 業績推移 (四 半 期)

化成品

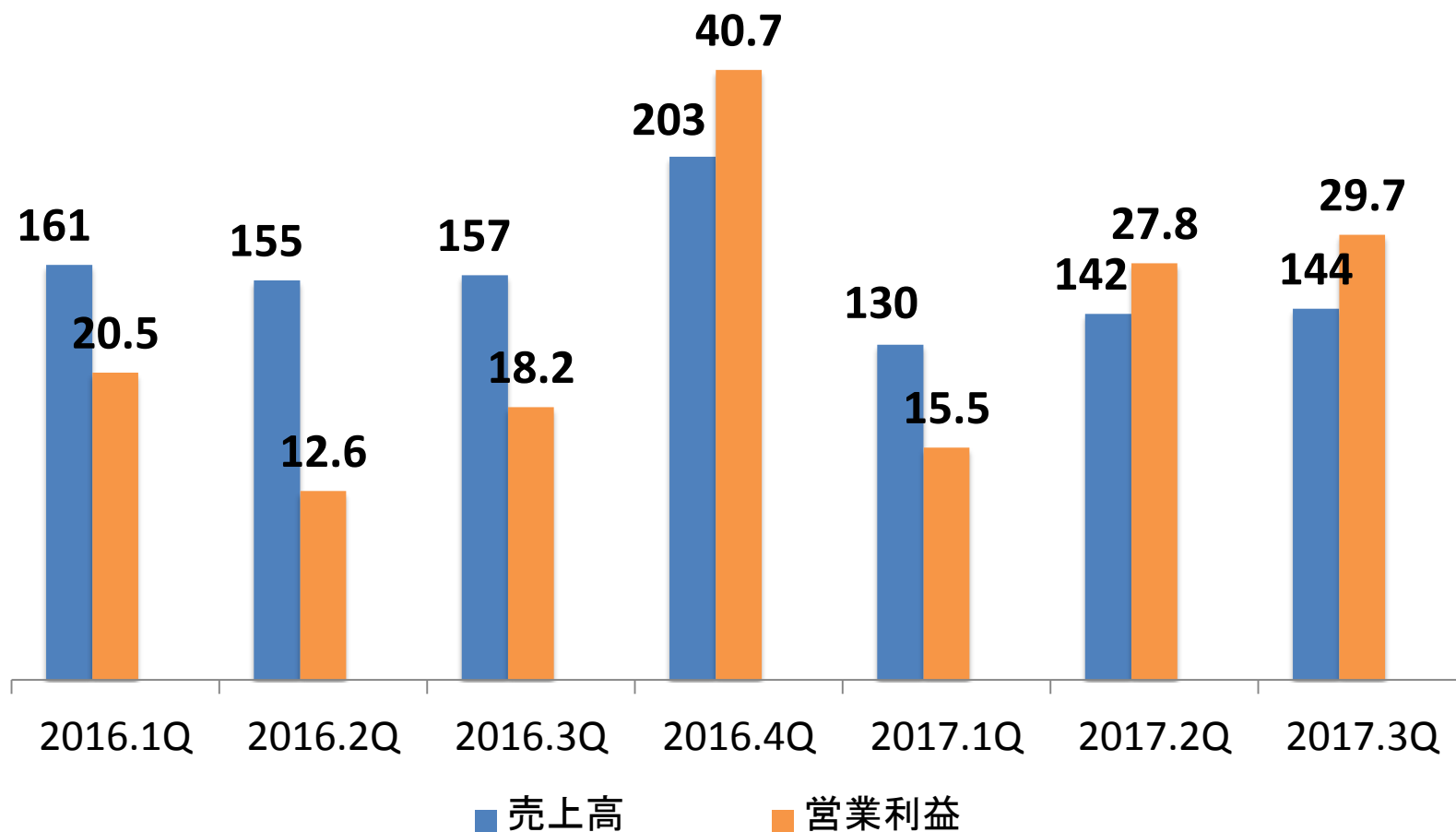
(億 円)



2. 業績推移 (四 半 期)

特殊品

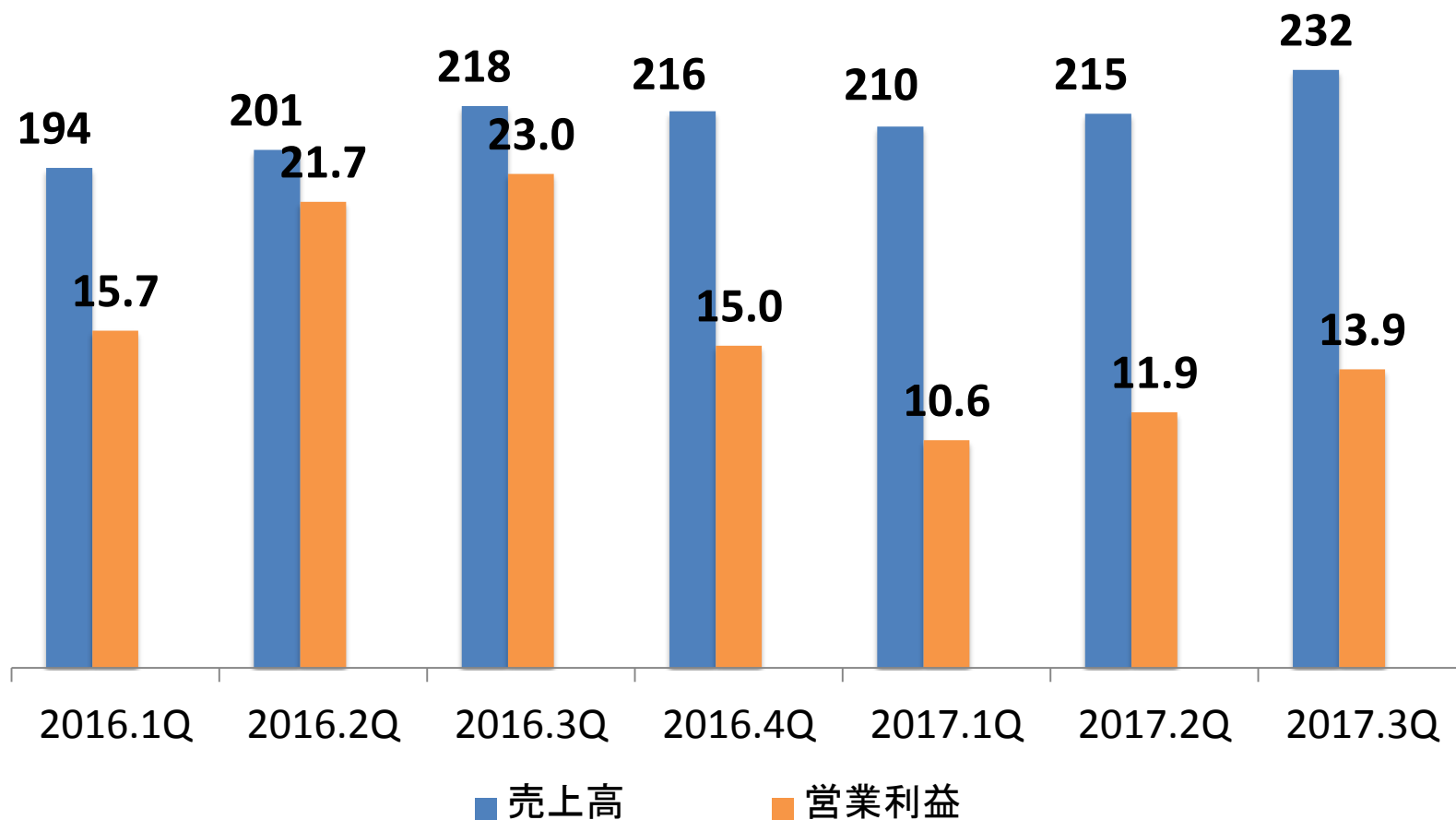
(億円)



2. 業績推移 (四 半 期)

セメント

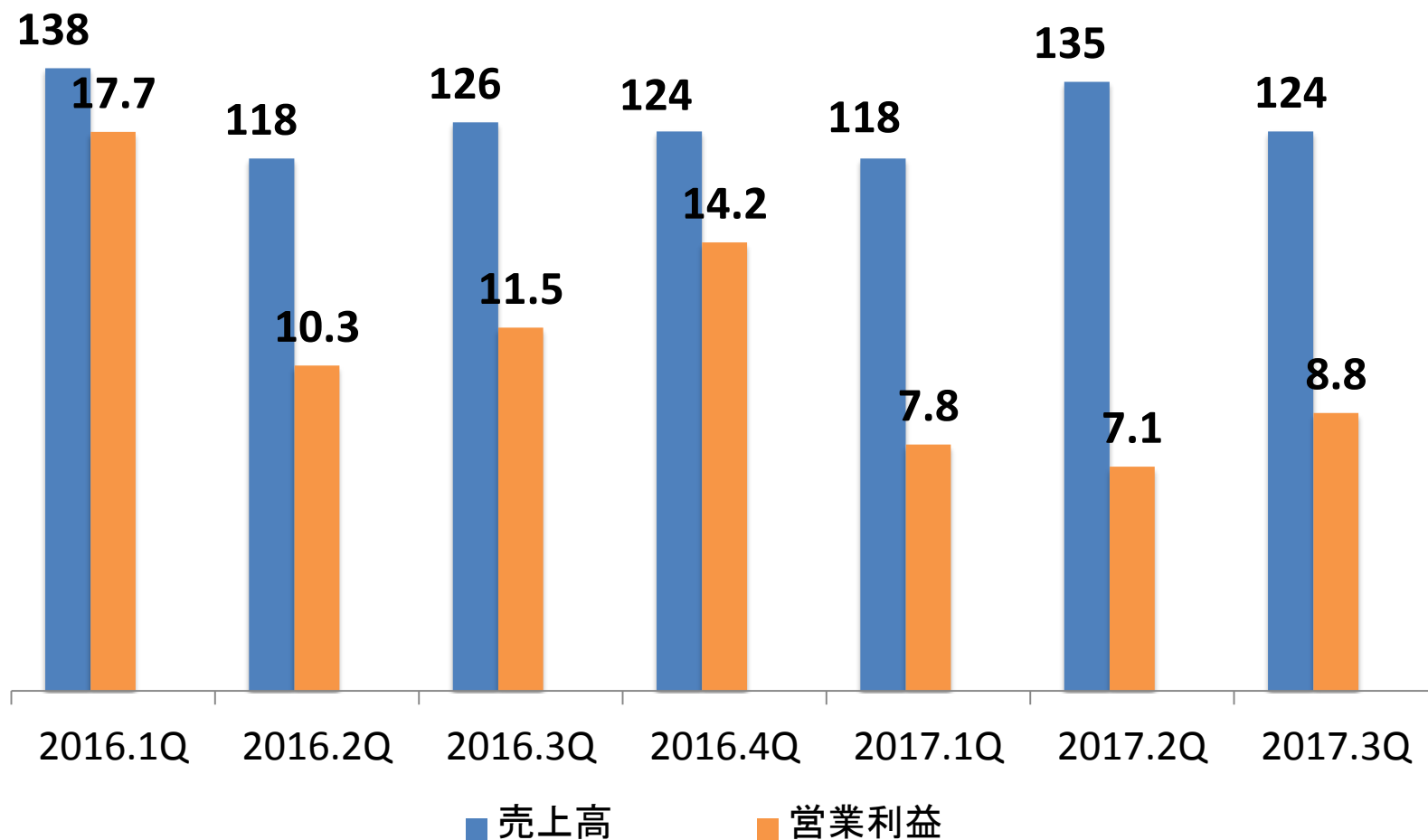
(億円)



2. 業績推移 (四 半 期)

ライフアメニティー

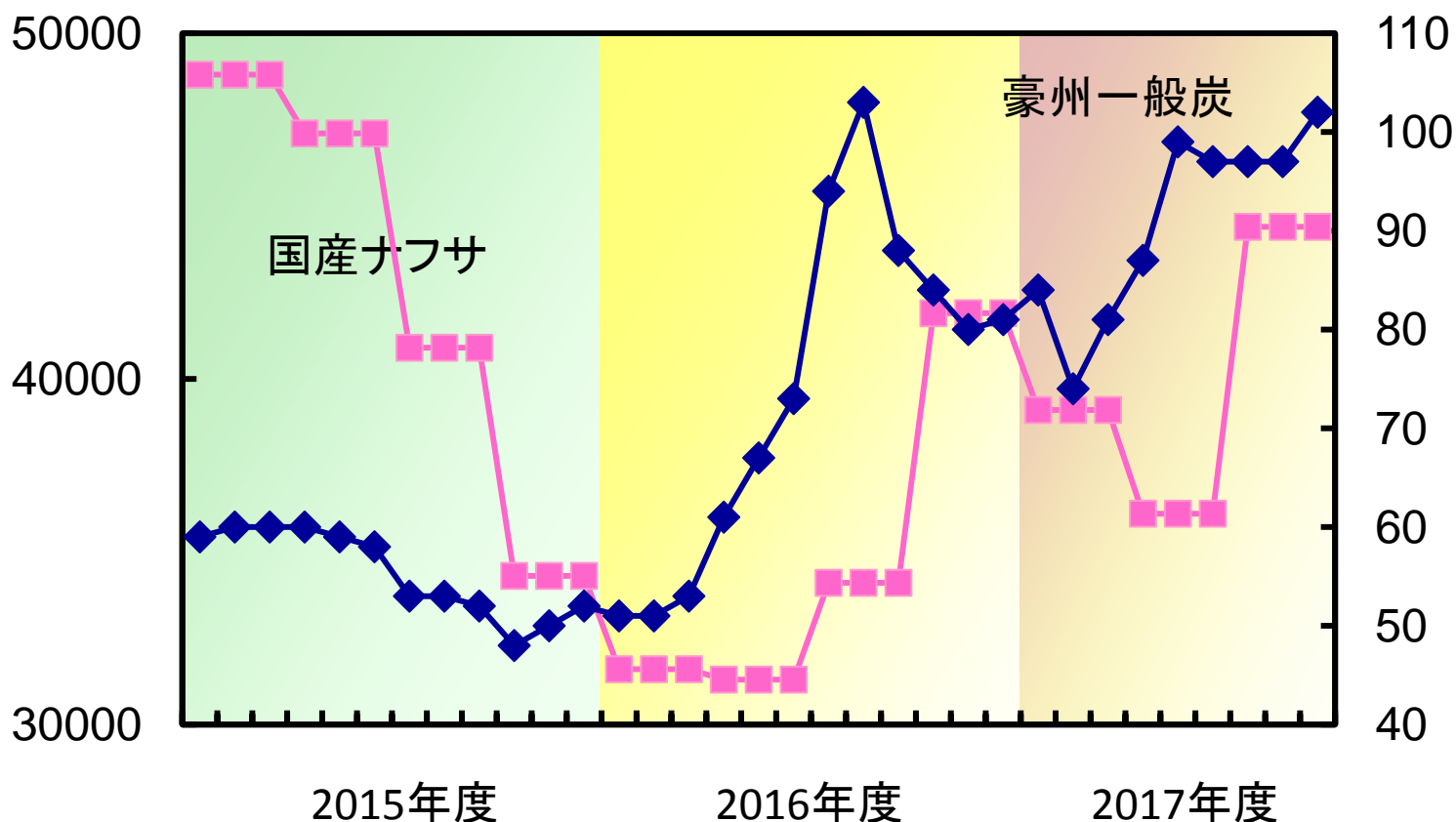
(億円)



3. 主要原燃料価格推移

国産ナフサ価格
(円/kl)

豪州一般炭スポット価格
(\$/トン)



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA

